



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

KOMAKI SHIGIKAI DAYORI

こまき 市議会 だより

No.177 発行／小牧市議会
平成29年5月1日

- 平成29年度一般会計歳入歳出予算を含む
議案59件を可決 ……2～6
- 代表・個人通告質問を14名の議員が実施
……9～17
- 議員研修会のまとめ ……19
- スマホで議会だよりが始まります ……20

*ホームページ

小牧市議会

検索

<http://www.city.komaki.aichi.jp/shigikai/>

★表紙写真の募集をしています。



春の神明祭子ども歌舞伎(4月9日撮影)

「元気」と「支え合い」が 地域内で循環するまちづくりの 実現を目指す



特別・企業会計予算

■一般会計歳入■

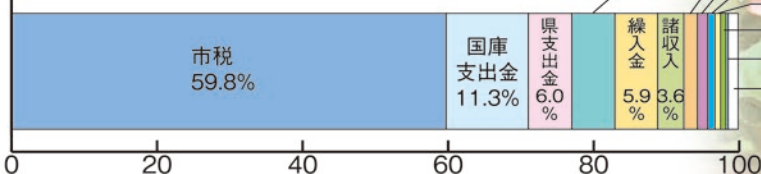
歳入予算総額 514億2000万円

市税の内訳

個人市民税	94億3000万円	法人市民税	31億6300万円
軽自動車税	2億9400万円	市たばこ税	10億8500万円

平成29年度一般会計予算については、歳入の大宗をなす市税収入において法人市民税が企業の収益動向等で減収、個人市民税では雇用状況の改善で増収となることなどから前年度並みと見込み、歳出では、社会保障関連経費を主とする民生費の増嵩や学校施設等の公共施設の老朽化に伴う維持経費等が財政を少しずつ圧迫し始めています。財政的に非常に厳しい状況の中、引き続き新基本計画に掲げる3つの都市ビジョンの実現を目標に置きつつ、市民の「安全・安心」を守り、「快適」な生活を実現するための編成をした結果、514億2000万円となり、対前年度当初比3.4%の減となりました。

また、一般・特別・企業会計予算の総額は、1198億1832万7千円となり、各会計の歳入・歳出内訳は次のとおりです。



主な事業



ひとり親家庭等支援事業
1240万円



小牧市女性消防団員の皆さん
女性消防団活動事業
468万2千円



**支え合いいきいきポイント
推進事業**
346万5千円



道路照明灯LED化事業
210万円

平成29年度 小牧市一般・

■特別会計■

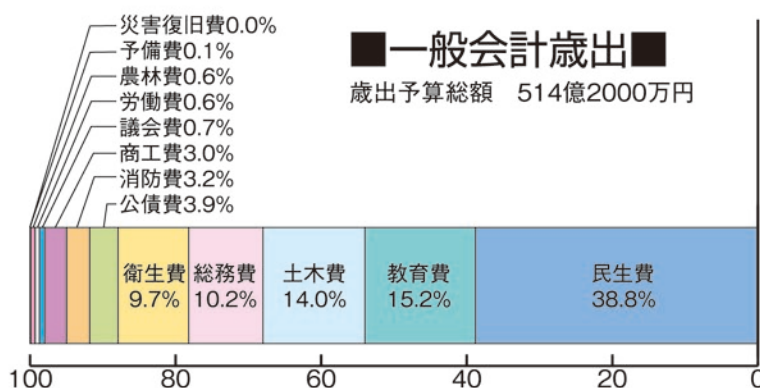
会計名	平成29年度 当初予算額
土地取得	157万5千円
国民健康保険事業	165億8853万5千円
小松寺土地区画整理事業	1億5857万9千円
文津土地区画整理事業	4億9240万1千円
岩崎山前土地区画整理事業	2億8509万6千円
小牧南土地区画整理事業	5億3497万2千円
公共下水道事業	38億6848万円
農業集落排水事業	7161万9千円
介護保険事業	82億8749万9千円
後期高齢者医療	31億2330万5千円
特別会計合計	334億1206万1千円

■企業会計■

会計名	平成29年度 当初予算額
病院事業	301億4854万4千円
水道事業	48億3772万2千円
企業会計合計	349億8626万6千円

■一般会計歳出■

歳出予算総額 514億2000万円



平成29年度
当初予算額

第1回定例会

第1回定例会は、2月27日から3月23日までの25日間を会期として開催し、平成29年度当初予算案13件を始め、条例案28件、一般議案2件、専決処分承認案1件、補正予算案13件、人事案2件の合計59議案を審議しました。

上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条例

▽小牧市高齢者デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

この条例は、介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、小牧市高齢者デイサービスセンターを利用することができ、定めるものは介護保険法に規定する通所介護の保険給付又は第1号事業支給費を受けることができる者です。

平成29年4月1日から施行されます。

▽小牧市人・農地プラン検討会条例の制定

この条例は、人・農地プラン（地域が抱える人と農地の問題を解決するための計画）を策定し、及び当該プランを推進するために小牧市人・農地プラン検討会を設置することなどを定めるものです。検討会は、委員12人以内で組織し、平成29年4月1日から施行されます。



▽小牧市学校給食用物資選定委員会条例の制定

この条例は、経済的かつ良質な学校給食用物資を選定するために小牧市学校給食用物資選定委員会を設置することなどを定めるものです。委員会は委員12人以内で組織し、平成29年4月1日から施行されます。

一般

▽小牧市道路線の廃止及び認定

既認定路線を整理するため2路線を廃止し、市民の利便を増進するために4路線を認定するものです。



補正予算

平成28年度一般会計補正予算は、総額が526億3290万5千円となりました。

主なものは次のとおりです。

《増額分》

- ・基金積立金（こまき応援寄附金関係）
- Ⅱ2億7064万9千円

- ・返還金（生活保護費等国庫負担金等）
- Ⅱ5125万1千円

《減額分》

- ・小牧岩倉衛生組合運営費・建設費負担金
- Ⅱ1億9713万6千円
- ・小学校施設営繕事業
- Ⅱ1億7368万4千円
- ・地域密着型サービス施設整備補助金
- Ⅱ1億2870万円



人事

▽小牧市副市長の選任

小牧市副市長として江口秀和氏を選任同意しました。

▽小牧市固定資産評価員の選任

小牧市固定資産評価員沖本一治氏の辞意に伴い、後任者として江口秀和氏を選任同意しました。

第 1 回 定 例 会

(結果の記載がないものについては、全員賛成した議案です)

◇上程議案と審議結果◇

◇条 例 案……28 件

●職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●職員の修学部分休業に関する条例の制定 ●職員の高齢者部分休業に関する条例の制定 ●職員の自己啓発等休業に関する条例の制定 ●職員の配偶者同行休業に関する条例の制定 ●個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定 ●使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定 ●高齢者デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●障害者自立支援審査会の委員の定数及び任期を定める条例の制定 ●福祉有償運送運営協議会条例の制定 ●地域包括支援センター運営協議会条例の制定 ●介護保険条例の一部を改正する条例の制定 ●指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 ●農政推進協議会条例の制定 ●農業振興地域整備促進協議会条例の制定 ●人・農地プラン検討会条例の制定 ●食育推進会議条例の制定 ●緑地面積率等を定める条例の一部を改正する条例の制定 ●遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定 ●地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●学校給食用物資選定委員会条例の制定 ●学校保健結核対策委員会条例の制定 ●生涯学習審議会条例の制定 ●史跡小牧山整備計画審議会条例の制定

※職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定……………可決(出席者賛成多数)

◇一 般 議 案……2 件

●道路線の廃止 ●道路線の認定

◇専決処分承認案……1 件

●専決処分の承認

◇平成28年度補正予算案……13 件

●一般会計補正予算(第6号) ●土地取得特別会計補正予算(第1号) ●国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ●尾張都市計画事業小牧小松寺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) ●尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) ●尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

●尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) ●公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 ●農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) ●介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ●後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ●病院事業会計補正予算(第2号) ●一般会計補正予算(第7号)

◇平成29年度予算案……………13件

●土地取得特別会計予算 ●国民健康保険事業特別会計予算 ●尾張都市計画事業小牧小松寺土地区画整理事業特別会計予算 ●尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計予算 ●尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計予算 ●尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計予算 ●公共下水道事業特別会計予算 ●農業集落排水事業特別会計予算 ●病院事業会計予算 ●水道事業会計予算

※一般会計予算……………可決(賛成多数)
 ※介護保険事業特別会計予算……………可決(賛成多数)
 ※後期高齢者医療特別会計予算……………可決(賛成多数)

◇人 事 案 ……2件

●副市長の選任 ●固定資産評価員の選任

◇修 正 案 ……1件

※議案第43号平成29年度小牧市一般会計予算に対する修正案……………否決(出席者賛成少数)

表決結果の分かれた議案(上記「※」の議案です。)

第1回定例会	牧 政 会											市民クラブ			公 明 党 小牧市議団			政道クラブ			日本共産党 小牧市議団			無会派
	高野 達夫	木村 哲也	長田 淳	稲垣 守	河内 伸一	鈴木 英治	小島 倫明	舟橋 秀和	玉井 宰	船橋 厚	澤田 勝巳	西尾 貞臣	小川 真由美	小沢 国大	稲垣 衿子	加藤 晶子	橋本 哲也	熊澤 一敏	谷田貝 将典	野々川 嘉則	稲垣 美佐代	佐藤 大輔	安江 美代子	船引 嘉明
職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	退席	×	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	○
平成29年度一般会計予算に対する修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退席	退席	○	×	×	議長	×	×	×	○	○	○	×
平成29年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	○
平成29年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	○

※表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。
※賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。
※議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

委員会審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

小牧市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

事業効率の向上を

問 自己情報訂正の通知は、具体的にどのような手順で進められるのか。

答 個人情報保護条例の規定に基づき、自己情報の開示の請求ができることになっており、この開示請求者が、開示決定に基づいて取得した自己情報について、違っていると思慮する時に、実施機関に対して訂正の申し出を請求できる。その請求について、実施機関で審査、調査等して、訂正をしたときは、その内容を条例事務関係情報照会者や同じく提供者へ通知をするものである。

結果 全員一致で可決

福祉厚生委員会

小牧市福祉有償運送運営協議会条例の制定について

福祉有償運送、その内容とは

問 この条例において福祉有償運送とはあまり聞きなれないが、どのようなものか。

答 福祉有償運送とは、NPO法人等が、他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ単独でタクシーやその他の公共交通機関を利用することが困難な身体障がい者、要介護認定者、各種障がいがある方で、事前に会員として登録をされた方を実費の範囲内であつて営利とは認められない範囲の中の対価によって、乗車定員11人未満の自動車を利用して、原則ドア・ツー・ドアの個別運送を行うものである。なお、このことはNPO法人等が自家用車をもつて行うもので、事前に運輸支局長等へ登録が必要となる。

結果 全員一致で可決

文教建設委員会

小牧市生涯学習審議会条例の制定について

生涯学習審議会の委員は

問 生涯学習審議会を設置する経緯について伺う。また委員については、どのように決められるのか伺う。

答 全庁的に行われた附属機関に準ずる機関の見直しに際し、この会議が該当し、審議内容が重なる社会教育審議会を合わせて、生涯学習審議会として整理統合した。生涯学習審議会は、成人教育や青少年教育といった社会教育、文化芸術、文化財等の施策、そして本市生涯学習の推進について調査審議し、合議により組織の意思決定をする。また、委員の選定は、学校の先生、PTA関係者や地域活動を行っている方、保育士の経験者や子育てに関する活動を行っている方、大学の先生などの専門家を想定している。その他、例えば公募委員として、社会教育、生涯学習に関心のある市民の方を考えている。

結果 全員一致で可決

予算決算委員会

平成29年度小牧市一般会計予算

結果 賛成多数で可決

(賛成20人・反対3人)

〈総務分科会〉

法人市民税の減収

問 法人市民税が、前年度と比べ5億3600万円減収する要因は何か。法人市民税の一部国税化による平成28年度と29年度の影響額を伺う。

答 最近の経済情勢や企業の収益動向に加え、税制改正による国の法人税率の引き下げの影響を勘案して見込んでいる。平成28年度当初予算額をベースとすると、国の法人税率引き下げの影響で、約4600万円の減収、また主要法人のアンケート調査による経済動向で、約4億9000万円の減収になると試算し、結果として前年度と比較して約14.5パーセント、5億3600万円減の31億6300万円を計上したものである。法人市民税の一部国税化の影響額は、平成28年度は約6億6400万円、平成29年度は約5億4800万円と試算している。

〈文教建設分科会〉

こまきプレミアム商品券が売れ残った。予算への影響は？

問 こまきプレミアム商品券発行助成事業について、平成28年度は、約2億2000万円程度売れ残ったと聞く。新年度予算は減額すべきと思うが、どうか。

答 平成28年度の反省点から販売場所、販売回数等の改善、加盟店の販売活動への支援、利用メリットの告知手法の工夫等、より多くの方が購入できる取り組みを予定している。平成29年度は国の特例措置の認可を受けて、利用期間の前倒しができた場合、夏のボーナス需要の取り込みが可能になる。小牧市としてもより多くの方に商品券を利用していただき、商品券を買いたい人が買えない状況としないため、さらには、事業の目的でもある商業の活性化に向け、加盟店がこの事業を販促ツールとして活用しモチベーションを向上していくためにも、従来の発行額を維持する必要があると考える。



平成29年度小牧市病院事業会計予算

結果 全員一致で可決

〈福祉厚生分科会〉

新市民病院エネルギー転換

問 市民病院のボイラー用重油代が6500万円とあるが、新市民病院ができた場合も継続して重油を使っていく考えなのか。また、ほかの手法を使っていくのか。

答 新市民病院では、電気・ガスを主に使うということで、重油については基本的には災害用の非常用発電で使用することを考えている。今の現市民病院よりは、かなり重油の量は少なくなると想定している。



陳情

▽陳情処理の結果（平成28年第4回定例会分）

・平成29年度教育予算に関する陳情書

：学級規模縮小の継続と他学年への拡大については、教育委員会連合会において国、県に対し、要望活動を行いました。

平成29年度予算案においては、学校教育活動の一層の充実向上を図るべく、中国語の語学相談員の増員、小中学校の施設整備については、計画的な事業に加え、喫緊の事業に必要な措置を反映させました。



◇8月1日号議会だより表紙写真募集

〈募集する写真について〉

○テーマ 夏がイメージできる市内のイベントや風景等。

○応募期限 7月11日（火）まで。

○東庁舎3階議会事務局へお持ちください。

〈注意事項〉

○応募は、市内在住・在勤の方のみです。

○応募写真は、編集委員会で誌面構成を考慮し、1枚掲載いたします。

○（選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください。）

○応募写真は、データでお持ちください。なお、著作権は市議会に帰属します。

○被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募ください。

○応募写真は、返却出来かねますので、悪しからずご了承ください。

〈問合せ先〉 小牧市議会事務局

電話 76-1168

FAX 76-0360





牧政会
舟橋 秀和

今後の市政運営と新年度予算

問

①現在、小牧市は、平成26年4月より始まっている新基本計画に基づき市政運営が行われているが、新基本計画が終了する平成30年度以降の新たな計画をどう考えているのか。②施政方針・新年度予算の中で『元氣と支え合いが地域内で循環するまちづくりの実現に向けて、小牧市の活力を高めるために編成された予算』と述べられたが、市長が特に重きを置いた事業は何か。

答

①平成23年8月に地方自治法の改正により、議会の議決を経て基本構想を定める規定が削除され、自治体ごとに基本構想の策定の必要性や手続きなどを決めていくこととなった。本市では、平成27年3月に自治基本条例を制定し、同条例第4条に、小牧市民憲章を「まちづくりの基本理念」として位置づけ、基本構想の役割を担わせることとし、第19条に基本計画の策定根拠を示した。これにより、次期計画から、これまでのいわゆる総合計画といわれてきた基本構想、基本計画、実施計画からなる3層構成の計画ではなく、基本計画と実施計画の2層構成で策定する予定である。この策定スケジュールについては、現段階では平成30年度、31年度の2力年で策定する予定であるが、策定にかかる基本的な方針については、今後、適

当な時期にお示しさせていただきたいと考えている。②特に重きを置いたものは、全てのこどもたちが夢や希望が持てる環境づくりと、高齢者の元氣と支え合いの循環のまちづくりの実現。具体的には、ひとり親家庭への支援として、大学等に入学する際に必要な準備費用などの助成や、十分な教育環境に恵まれず、学力が定着していない中学生に対して「駒来塾」を創設する。また、市内の介護施設や地域でのサロン活動への協力などに対して付与したポイントを市内限定商品券に交換できる「こまき支え合いいきいきポイント制度」を始めとする事業を展開し、新基本計画で掲げる3つの都市ヴィジョンを実現していく。



こまきプレミアム商品券発行助成事業

問

①平成28年度のこまきプレミアム商品券発行事業では、発行額11億円を維持する中、年1回の販売とし、年度内の事業完了として取り組んだが、販売には至らなかった。その要因は何か。②平成29年度も28年度同様の予算が計上された。平成28年度の課題をどのように改善するのか。

答

①完売に至らなかった要因は、これまで年2回の販売で10カ月以上の利用期間を設定していたが、平成28年度事業では年1回販売にしたことで利用期間が6カ月未満となり、消費の対象となる期間が短

く需要を取込むことができなかった。販売方法では、全体として商品券が残っているなか、個々の販売店では予約販売枠に達し予約の受付を終了したため、購入希望者に商品券全体の予約受付が終了したかのような誤解を与えたこと、販売店の予約終了後、商品券の予約が商工会議所に集約され、同所から遠方にお住まいの方は商品券の購入を敬遠されたことなどが考えられる。予約期間終了後の販売では、特設販売などを実施し商品券の販売に努めたが、事前の周知が十分にできず効果的な販売に繋げることができなかった。②平成29年度事業では、国の特例措置の認可を受けて利用期間を拡大できるよう、商工会議所にて現在検討が進められている。これは、利用期間を7月中旬から2月末までの約8カ月間に拡大し、商品券の利用機会を増やし、より多くの方に商品券を利用していただくこととするもの。また、1次予約終了後に販売残額があった場合、2次予約を実施する前提で、予めPRを図る。販売店の予約受付終了に伴い商品券の購入を諦める方も予想されるため、出張販売窓口の開設回数を増やすとともに、商品券販売店数、既存販売店の商品券取扱量、市内企業への出張販売回数をそれぞれ増やすことなどを予定している。

●その他の質問

- 一、公共ファシリティマネジメント
- 一、都市基盤整備
- 一、新小牧市立図書館建設
- 一、小牧らしい子育て施策
- 一、健康寿命の延伸に向けた取り組み



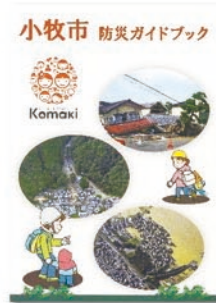
市民クラブ

西尾 貞臣

安全・安心

問

防災ガイドブックの更なる充実を図るため、地域ごとの詳細な情報を盛り込み、避難路や避難場所などを地域の住民が日頃から知っていただけの様に、また内容の改訂を適宜進め、情報の更新が必要と考える。所見を伺う。



答

昨年4月に各世帯に配布した防災ガイドブックは、災害が発生したときに市民の皆さんが適切な避難行動をとることができるよう、防災情報の提供と防災啓発のために作成し、内容は備蓄品などの日頃の備えのほか、市内地図に避難所の位置、浸水想定等、自宅周辺の情報が確認できるようにしている。また、説明は簡潔にまとめ、イラストや写真を用いて、読みやすく、分かりやすいものになるよう配慮している。

地図に避難路を示すなど内容を詳しくすることにより、情報が早く変わり、すぐに改訂

が必要となるなどの問題があるため、避難路などの詳細な情報は、地域の皆さんで地図を作成するなどの方法により情報を共有していただきたい。

改訂については、避難所施設の変更などの状況を見ながら検討していく。

(公益社団法人)シルバー人材センター

問

高齢者の現役時代の専門性や技能を生かせる分野についても、就労できる様に、事業の分野の拡充を図ることができると良いと考える。所見を伺う。

答

シルバー人材センターの現在の主な仕事内容は、一般作業としては、除草や草刈など、技能や技術を要する仕事としては、樹木の剪定など、サービスの提供や事務仕事としては、家事手伝い、宛名書きなど、管理業務の仕事としては、駐輪場の整理などで、会員の技術や技能を活かした多種多様な業務にわたっている。

シルバー人材センターでは、これまでも現役時代に培われた技術や技能を活かす多様な仕事を行っておられ、今後は少子高齢化の一層の進展を見据え、女性会員による福祉的な家事援助サービスや子育て支援に関するサービスなどの開拓、また、特別な資格や技能を持たなくても、事務系業務を得意とする方の能力を活かすことができる派遣業務を開拓するこ

とにより、事業拡大を行っていく計画であると聞いている。市としても、今後も高齢化が進むことから、シルバー人材センターが元氣な高齢者の持つておられる技能、知識、経験を活かす事業を一層拡大していただくことにより、多くの方が生きがいを持って働ける場となることを期待する。



●その他の質問

- 一、教育・文化
- 一、中心市街地の活性化
- 一、農業の振興
- 一、行政力の充実



公明党小牧市議員

加藤 晶子

こまき支え合いいきいきポイント制度

問

①社会貢献に応じて介護保険の保険料を実質的に割引く介護ボランティア制度を、市では支え合う地域づくり促進のために「こまき支え合いいきいきポイント制度」として導入に踏み切ったと思うが、どのように推進していくのか。②また日常生活の困り事支援を地域協議会が立ち上がった地域だけを対象にしたのはどうしてか。

答

①こまき支え合いいきいきポイント制度は、高齢化社会に向けた市民の支え合い助け合い活動を広げていくための新たな制度として、「介護施設ポイント」、「サロンポイント」、「地域ポイント」の3種類の制度設計を行い、平成29年度の秋頃にスタートしていきたいと考えている。

制度を推進するため、広報こまきや市ホームページでの周知を図るほか、関係各部署と連携し様々な場面でPRを行っていく。また、多くの方々に参加いただくため、協力者に対する説明の場を設けるなど、人材育成も重要と考える。



②第6次小牧市総合計画新基本計画の市政戦略4において、「都市の活力」の源である市民の健康づくりと市民が地域で活躍できる環境づくりを支援するとともに、「暮らしの安心」を支える地域での支え合い助け合い活動を促進し、健康・いきがいづくりや地域経済の活性化につなぐ「都市の活力」へと循環していく仕組みづくりを進めることとしており、そのためには、地域協議会の設立、こまき支え合いいきいきポイント制度の創設、市内限定商品券の流通拡大を一体的に促進していくことが重要であると考えている。

今後、地域の絆力を高めていくとともに、地域活動を活性化し、支え合い助け合いの地域づくりを推進していくためには、地域協議会の設立が不可欠であり、地域協議会の設立と合わせ、この制度が全的に広がっていくよう努める。

がん対策

問

昨年成立した、がん対策基本法の改正法を踏まえ、3点伺う。①がん検診の受診率向上に向け、今後の推進をどのように考えているか。②文部科学省から提示されたがん教育推進のための教材の活用状況はどうか。③がん患者の就労支援について、市はどのような取り組みを考えているか。また、市民病院の取り組み状況はどうか。

答

①がん検診の受診率を向上させるには、がんに対する正しい知識の普及とがん検診の受診しやすい環境整備が必要と考える。

●その他の質問

- 一、施政方針
- 一、福祉政策
- 一、教育

平成29年度からは乳がん検診について市内医療機関で個別検診の実施も予定している。今後は、個別の受診勧奨の強化や働く世代の受診率向上を目指し協会けんぽと連携し、小規模事業者に対し働きかけを強化する。

②文部科学省から提示されたがん教育推進のための教材については、愛知県教育委員会から、この教材を活用した指導案が示され、小学6年生の保健学習や、中学3年生の保健体育でこの教材等を活用して学習し、がん予防への理解を深めた。今後も同様に進めていく。

③市では、事業者に対して、国が行っている取り組みの紹介をするほか、法律で定める事業主の責務について周知を図っていく。

市民病院では、社会保険労務士による就労支援相談を定期的に開催しており、受診患者以外の相談も行っている。





政道クラブ

野々川 嘉 則

産業振興

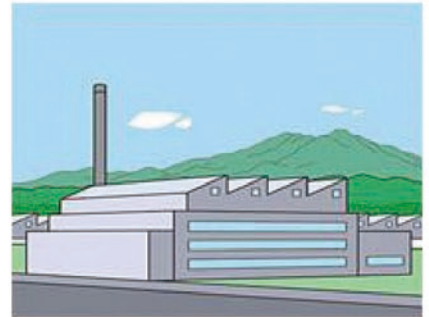
問

次世代成長産業及び航空宇宙産業への援助に関し、その支援状況及び航空宇宙関連の企業数と企業集積の強化に向けた今後の取組みを問う。

答

中小企業次世代成長産業設備等導入補助金として、平成27年度は6件で1863万9300円、平成28年度は2件で1367万円の補助を行った。また、中小企業対象のセミナーを、平成26・27年度は航空宇宙産業、平成28年度は次世代自動車産業をテーマに実施し、平成26年度は84人、平成27年度は26人、平成28年度は39人の参加であった。航空宇宙関連の企業数は、把握している数として、20社弱である。

航空宇宙分野は、産業の裾野も広く、派生技術は様々な分野に広がっていく可能性を持った産業分野と考えており、今後の成長産業として大いに期待している。職員による積極的な企業訪問、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の区域指定や県独自の税制支援措置である産業立地促進税制の活用に向けたサポートの他、各種補助金や関係法令の許可申請をよりスムーズに進めるための庁内組織の横断的な連携を図ることにより力強く支援を行っていく。



保健・福祉

問

国民健康保険の広域化について①広域化の背景とその効果を問う。②広域化に向けたスケジュールを問う。③今後、国民健康保険の運営等はどうなるのか問う。

障がい者福祉について④第2次小牧市障がい者計画（後期計画）の重点施策である権利擁護の推進の状況を問う。⑤早急に権利擁護支援センターを開設すべきと考えるが所見を問う。

答

①医療保険制度の財政基盤の安定化等を図るため、平成30年度から国保が広域化される。主な効果は、保険料上昇の抑制、市町村事務の効率化、国保財政の安定化が図られる。②現在、保険税率や賦課方式の検討を開始したところであり、少しでも早く事務手続を進める必要がある。③広域化後は、財

政運営の責任主体は県に移され、県が国保運営方針を策定し、事業の効率的な運営に取り組んでいく。本市では、仮に保険税の大幅な引き上げが必要な場合は、激変緩和策などを検討していく。④平成26年度に実施された「小牧市権利擁護支援のあり方検討委員会」の検討結果に基づき、近隣市町との共同による権利擁護支援センター設置に向けた勉強会を、これまでに4回行った。⑤共同設置について岩倉市・大口町・扶桑町から賛同する意向を確認できたため、現在、平成30年7月開設に向け、センター設置に関する基本的事項の合意に向けた事務を進めている。



●その他の質問

一、公契約条例
一、日本語教育の必要な外国籍等の児童生徒への支援



日本共産党小牧市議員
安江 美代子

高齢者福祉

問

①新しい総合事業の問題点は、要介護認定をさせず、利用手続きを保険給付でない「チェックリスト」でも可とし安上がりな総合事業へ誘導しようとするのだと思うがどうか問う。

②新しい総合事業には上限額があると聞く。それを超えた場合、サービスを減らすのか。小牧市は、一般会計から繰り入れてでもサービスを利用できるようにする必要があると思うがどうか問う。

答

①本年4月以降の介護サービスを受けるための手続きについては、新規にサービスの利用を希望される方には、これまで通り、原則として要介護要支援認定の申請をお願いする。地域包括支援センターなどの窓口で相談があれば、これまで通り、希望されるサービスの内容を聞き取り、介護サービスについて説明や要介護要支援認定の申請を行うことになるので、決して新しい総合事業へ誘導していいこととするものではない。

②上限はあるが、過去の給付費の実績等から差額を推計すると、来年度は、2800万円程度上限額を下回っている。今後仮に「新しい総合事業」の費用が、上限を超えるようなことが

あった場合は、基金からの繰り入れにより対応していくので、サービスの利用ができなくなるようなことはないと考えている。



こまきプレミアム商品券発行事業

問

①平成28年度事業では、2億2000万円売れ残ったのに、平成29年度予算を昨年と同様にしたのはなぜか、根拠を問う。

②これまで2回販売では完売しているが、1回販売では売れ残った。これは同じ人が2回買ったことを示し、買う人は固定化していると思う。税の公平性に欠ける。事業の縮小をすべきと思うがどうか問う。

③補助金は、実績に沿って予算化するべきである。平成29年度事業で売れ残った場合、予算は縮小するべきと思うがどうか問う。

答

①②平成29年度事業は、平成28年度事業の反省点から、販売場所・販売回数等の改善・加盟店の販売活動への支援・利用メ

リットの告知手法の工夫などにより、今まで以上に多くのの方に購入いただける取り組みが予定されている。市としてもより多くの方に利用いただくとともに、中小事業者の活性化に向け、加盟店がモチベーションを向上していくためにも、従来の発行額を維持する必要があると考えている。

③平成28年度事業の反省点を踏まえた改善や国の特例措置の認可を受けた利用期間の拡大などにより、平成29年度事業においては、平成28年度に比べ商品券の販売額は増加していくものと考えている。現時点においては、これから商品券の完売に向けた取り組みをしっかりと検討していくことは重要と考えている。



●その他の質問

一、ラピオ

雑がみの出し方の簡素化



牧政会
木村 哲也

問 部品付きファイルが雑がみ扱いに？

4月1日雑がみの出し方が簡素化される。雑がみとは、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外のリサイクル可能な紙類のことであり、簡素化は、市民・環境・行政にとって「三方よし」となる改善のようであるが、

- ① 出し方がどのように変わるか問う。
- ② なぜ簡素化できるようになったか問う。
- ③ どのようなメリットがあるか問う。
- ④ ごみ回収事業における市の考え方を問う。

答 — 回収後工場で不純物除去し再生紙に

- ① 汚れた紙以外、紙袋・緑袋で出せるように。
- ② 処理可能な製紙工場への搬入による。
- ③ 市民の分別の手間と処理コスト削減。
- ④ ごみ処理費用は年20億円超が必要。今後も行政経営が厳しくなる中、市民の負担軽減や利便性を高めつつ分別によるごみ減量化や再資源化を推進し、費用抑制に努めたい。



新しい桃花台のまちづくり



牧政会
玉井 宰

問 今後の課題と方向性について

- ① 商業施設の立地を阻む規制の緩和を含めて、桃花台地区の再生・活性化をどのように考えているのか。
- ② 高蔵寺ニュータウンの再生・活性化を目的にした「ニュータウン創生課」のような組織を作れないのか。

答 ① 桃花台地区は、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えのもと策定した小牧市

立地適正化計画を踏まえ、今後、商業施設の立地規制の緩和など具体的な方策を検討していく必要がある。そのためには、地域住民の方々が将来的に桃花台をどうしていくべきかを考え、いただくことが肝要であり、市はこうしたご意見をよく聞き、取り組む必要があると考えている。

② 現在のところ、桃花台地区に限定した専門部署を新設する予定はないが、今後の桃花台地区の高齢化や人口動態については、引き続き十分注視していく必要がある。

桃花台については、域内の地区によってもかなり状況が異なることなどから、まずは庁内で桃花台の課題、現状を整理させていただきたいと考えている。



災害対策



政道クラブ
谷田貝 将典

問 過去の震災時の反省と教訓を学び、小牧市においても未就学児のいる家庭優先避難所及びペットの避難所の具体的な対策をたてるべきと考えるが所見を問う。

答 避難所におけるペットの取扱いは、臭い等の問題が多く、対応への検討が十分にできていない。同行避難したペットの頭数、避難者数、避難所のスペースなどによって、いくつかの対応が考えられるため、状況に応じて判断することになる。この問題について、避難所を運営される地域の方々が理解をされ、適切に対応していただくよう、近々各区に配布する避難所運営マニュアルに記載した。また、大地震が発生した場合に、避難所などでペットの治療や飼育などのケアを提供できるよう、動物病院などの方々に協力を要請していく。

未就学児のいる家庭への対応については、避難所内に子供たちの遊び場など周囲に気兼ねすることなく利用できる部屋を確保し、日中に使用していただき、他の避難者がストレスを感じない環境とするよう、対応していく。



小牧市空家等対策計画



牧 政 会
河 内 伸 一

問 空家に関する問題は、周辺地域の生活に深刻な影響を与えるケースがでてきたことがあげられ、現在「小牧市空家等対策計画」を策定中と聞いているが、小牧市の空家の現状計画の具体的内容について問う。

答 空家の調査については、現地調査や所有者アンケートを行って363戸を空家として判定した。また地域別では市内に広く空家が分布している。直ちに対処が必要な空家は今回の調査では見受けられなかったが、このまま放置すれば問題が生じる可能性があることから今後定期的な状況確認を行い、適正な管理のお願いなどの対応を続けていく。

小牧市空家等対策計画では、基本方針として老朽化を未然に防ぐため適切な管理を所有者に促し、安全確保の観点から除却改善による空家対策などに取り組む。また地域活性化や生活環境の向上の観点から有効活用を視野に入れた支援の検討、情報の周知啓発などにより空家の増加抑制に努めていく。今後、庁内空家関係会議を中心に特定空家を生み出さないことをはじめとして、国や県、関係団体とも連携をとりながら空家等対策を推進していく。



子育て世代包括支援センター



公明党小牧市議員
稲 垣 衿 子

問 ①4月から実施される利用者支援事業の状況はどうか。
②母子保健型についてどのように考えるか。
③産後うつ対策の強化が必要と思うがどうか。
④子育て応援アプリの導入の考えはないか。



答 ①利用者支援事業は、こども政策課窓口で「特定型」を実施する。相談の受付、サービスや支援の提案などを行う。子育て世代包括支援センターは、総合的な子育て支援施設の整備とあわせ検討していく。
②母子保健型の利用者支援事業の実施には、コーディネーターの配置など体制の整備が必要である。現状を踏まえ必要な人に必要な支援が行き渡るように検討を進めていく。
③産後うつが増加傾向にあることから、相談体制を強化するとともに先進事例を調査研究し、産後うつ予防など対策の強化に取り組んでいく。

④子育て応援アプリの導入については、7月から予定されるマイナポータルによる子育てワンストップサービスの活用を進め、今後の動向を見据えて判断していく。

外国人の日本語教育



日本共産党小牧市議員
稲 垣 美 佐 代

問 外国人労働者が他市より多い、小牧市の日本語教育の現状について。

①日本語初期教室本室・分室の指導状況と、遠方で通えない子どもに対する援助内容を問う。②小・中学校での外国人児童生徒への日本語教育では、県からの加配と市の相談員の増員が必要と思われるが問う。③洋式トイレを増やす事についての考えを問う。④親子の家庭間コミュニケーションの円滑化のため、企業の社会的責任として、従業員への日本語教育支援について問う。



答 ①日本語初期教室では、3カ月程度、学校生活に必要な日本語やルールを学習する。同教室に通えない児童生徒には、在籍する学校において、できる限りの支援を行っている。②県の加配教員は、児童生徒の増加に伴い充当されるように要望していく。市の語学相談員は、来年度、中国語の相談員を1名増員する。③洋式トイレは、計画的な改修により設置されているが、より一層の洋式化を進めていく考えである。④国際交流事業や多文化共生事業に取り組む小牧市国際交流協会が、学ぶ機会を提供しており、事業への理解・協力を企業に対し求めていく。

元氣創造都市の実現



無会派
船引嘉明
みなびきよしあき

問 ①新たな産業の創出に向けた取組みについて、現在、市ではどのような取組みがされているか、成果や課題は何か。②若年の勤労者世帯の流出傾向と対応について移住の原因把握と分析、対応策を尋ねる。

答 ①新たな産業の創出に向けた取組としては、小牧市企業新展開支援プログラムに基づく取組方針に、新増設・設備投資に対する支援、次世代成長産業参入の取組み支援、航空宇宙産業参入への取組み支援、研究開発・技術開発への取組み支援、起業・創業への支援がある。これらの施策の実績に基づく成果や課題の検証については、現在、利用した企業に対しアンケートを実施しており、今後、成果の検証と必要な改善について検討を進めたいと考えている。

②人口ビジョンでは2014年の本市の社会動態は、20代・30代の転出超過が顕著であり、転出の理由は男女ともに就職、転勤、結婚が多い。これらの行動傾向の類似性等を検証するため、転出入者対象アンケート調査を四半期ごとに実施しており、本年3月に実施する調査をもつて一年を通した分析が可能となることから、この結果を踏まえ、より詳細な分析につなげていきたいと考えている。

公共施設の有効活用



市民クラブ
小沢国大
こざわくにひろ

問 市民の方々に利用しやすい公共施設に①市民ギャラリーの利用状況を踏まえた料金改定について問う。②小牧市休日急病診療所は、病診連携をしている中で、うまく活用できないか問う。③2階に多目的スペースがあるが、物販しか使われていない気がする、有効活用について問う。

答 ①施設使用料については、受益者負担の原則から引き続き徴収していきたいと考えているが、利用実態や他施設、近隣市町の状況等を参考にしながら検討する。②休日急病診療所は、日曜日・祝日・年末年始に医師会などの協力で、市内で開業する医師・歯科医師などが交代で診療している。現状では、医師の手配などから平日の診療は難しいと考えている。

③多目的スペースは、休庁日には演奏発表会等に、開庁日には、パンや地元農産物などの販売等に無料で貸出しの許可を行っている。今後も幅広く利用いただけるよう、各種団体へ働きかけを行うなどPRに努めたい。



行政文書等の管理、公開

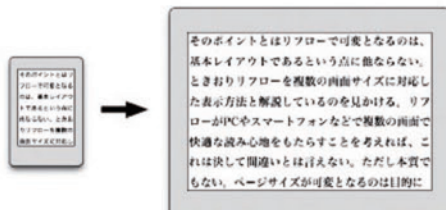


日本共産党小牧市議団
佐藤大輔
さとうだいすけ

問 ①マイクロフィルム等に保存されている文書は適切に管理されているか。②フィルムが劣化する前に検索性を考慮して電磁的記録に替えているか。③小牧市情報公開条例に基づく開示の際、電磁的記録による写しの交付ができないか。④その際、リフロー形式での提供を考えてはどうか。

答 ①マイクロフィルムや電磁的記録媒体は、事務室等で適切に管理している。②条例、規則の制定改廃時の文書は、マイクロフィルムや紙で保存していたが、劣化の前に電子化した。その際に索引目次の条例等の名称をクリックすると目的の条文に直接たどり着けるようにした。③電子記録による交付の課題として、マスキング処理をする不開示情報の部分を、加工できないようにする作業を誤ると情報漏えいにつながる。他の自治体の対応を調査し、手数料も含めて検討したい。④文書の電子化を進める中で研究していく。

■EPUBのリフロー（フォントや文字サイズ、字詰め、行数等が可変）



感謝状

第117回愛知県市議会議長
会定期総会(2月3日、於蒲郡市)
において、次の方々がその功績
に対し、同会会長から感謝状を
受けられました。

前議長
澤田 勝巳 議員

前副議長
舟橋 秀和 議員

その他の質問

● 災害廃棄物処理計画策定に向けた取り組み
(木村 哲也)

● トップランナー方式
(稲垣美佐代)

● 第二次環境基本計画
(小沢 国大)

納税状況の公表

	牧 政 会											市民クラブ			公 明 党 小牧市議団			政道クラブ			日本共産党 小牧市議団			無会派	
	高野	木村	長田	稲垣	河内	鈴木	小島	舟橋	玉井	船橋	澤田	西尾	小川	小沢	稲垣	加藤	橋本	熊澤	谷田貝	野々川	稲垣	佐藤	安江	船引	
	達夫	哲也	淳	守	伸一	英治	倫明	秀和	宰	厚	勝巳	貞臣	真由美	国大	矜子	晶子	哲也	一敏	将典	嘉則	美佐代	大輔	美代子	嘉明	
市・県民税	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
固定資産税	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-	○	
国民健康保険税	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	
※表示は、「○：納税済」、「×：未納」、「-：納税義務なし」、「空白：未提出」です。 ※平成28年度2月分までの納税状況を掲載しております。																									

次回定例会のお知らせ(予定)

・ 6月9日(金) 本会議(招集日)

・ 6月19日(月) 本会議(一般質問)

・ 6月20日(火) 本会議(一般質問)

・ 6月21日(水) 本会議(一般質問)・予算決算委員会

・ 6月22日(木) 総務委員会・総務分科会

・ 6月23日(金) 福祉厚生委員会・福祉厚生分科会

・ 6月26日(月) 文教建設委員会・文教建設分科会

・ 6月28日(水) 予算決算委員会

・ 6月29日(木) 本会議(最終日)

● 日程等は、招集告示日に開催される議会運営委員会において正式に決定されます。

● 議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

議員の寄附行為の禁止について

議員は、選挙区内の人にお金や物を贈ることとは、法律で禁止されています。

地域の行事等で議員に対し会費が伴う行事等の案内をされる場合は、案内文に会費（他の会費と同額の会費に限ります。）を明記してご通知ください。

 入学祝、卒業祝	 落成式、 開店祝の花輪	 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典（但し、自ら出席する場合は除く）	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入れ	 病気見舞い
 お中元、お歳暮	 町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入れ	 葬式の花輪、供花	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝（但し、自ら出席する場合は除く）	 お祭りへの寄附や差入れ

有権者が求めてもいません。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

議会を傍聴しませんか

本会議及び委員会（常任・特別）は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。市民の代表である市議会議員の活動や市政の方針などを直接お確かめください。

手続きは、簡単です。東庁舎3階議会事務局までお越しください。

さらに、本会議の模様については、本庁舎1階ロビーにて放映しています。

◆傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日（委員会については開会の15分前）に議会事務局に来ていただき、傍聴申請書に住所、氏名、年齢を記入していただきます。

また、座席数に限りがありますので、団体での傍聴は、前もって議会事務局へご連絡ください。なお、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

◆一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、本会議招集日の2日後から事前に小牧市議会ホームページに公表しています。ぜひご覧ください。

◆本会議・委員会ライブ中継・録画中継

○本市議会では、インターネットを利用し本会議（定例会・臨時会）及び委員会（常任・特別）の様子を視聴できるライブ中継をしていますのでぜひご覧ください。

○本会議（定例会・臨時会）及び委員会（常任・特別）の各日程のおよそ1週間後に録画映像を掲載していますので、小牧市のホームページからアクセスしてください。

○ケーブルテレビでも本会議（定例会・臨時会）をライブ中継しますので併せてご覧ください。



第6回

議員研修会

「大規模自然災害発生時の議会の役割」

(二元代表制及び効率性・開放性の論点から)をテーマに



小牧市議会では、平成29年2月9日、近畿大学 辻 陽(あきら)教授を迎えて議員研修会を開催いたしました。

- * 二元代表制とは
- * 議会に求められる役割
- * 効率性と開放性

* 小牧市議会と防災 * 災害発生時の議会の対応の在り方 * 災害発生時に向けたマニュアル策定の具体例や議会BCP(業務継続計画)策定の先進市議会の事例を学び、辻教授より「新たな小牧市モデルとなるような策定を」と御教示頂きました。

傍聴者の方をはじめ他市の議員の参加を頂きありがとうございました。議会改革委員会として研修会を踏まえ「災害時の議会对応」の協議を引き続き重ねて参ります。



“議会報告会と市民の意見を聴く会”を開催しました。

4月19日(水)・22日(土)に開催しました議会報告会と市民の意見を聴く会にたくさんの御出席をいただきありがとうございました。

今年度は、初の試みとして4月19日(水)には夜間に開催しました。ご出席をいただきました皆様からいただいた御意見につきましては今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。

内容につきましては、次回8月1日号に掲載いたしますので、ぜひご覧ください。



スマホで議会だよりが始まります。



現在、発行している「市議会だより」を、より多くの人に届ける情報発信手段として、スマートフォン・タブレット端末用アプリ「マチイロ」を導入しました。

「マチイロ」の特徴

- ・利用料が無料です。(通信費は利用者の負担となります)
- ・いつでもどこでも「市議会だより」を読むことができます。
- ・最新号の「市議会だより」が発行されると、アプリから通知でお知らせします。
- ・スクラップ機能で、範囲を指定して画像を保存することもできます。
- ・また、保存した記事は、メールへの添付や SNS 等で共有できます。

「マチイロ」の利用方法

「マチイロ」を利用するには、専用のアプリをダウンロードして、簡単な個人設定をするだけ。すぐに広報紙を読むことができます。

ダウンロード方法

1. iPhone(アイフォーン)の方…「App Store(アップストア)」を起動
2. Android(アンドロイド)の方…「Google Play(グーグルプレイ)」を起動
3. 「マチイロ」で検索し、アプリをダウンロードする。

※下記のQRコードからダウンロードできます。



▲iOS 版



▲Android 版



自治体が身近になる
情報をイロイロ発信!



※広告表示について／このアプリケーションは、(株)ホープが作成したものです。アプリ内には、広報紙に掲載されていない広告ページが挿入されますが、その内容に小牧市は一切責任を負いません。